

<個別案件確認表（東京都）>

東京都担当確認年月日 2019年 1月 23日

東京都作業部会確認年月日 2019年 1月 29日

(契約変更に伴う再確認年月日 2020年 8月 7日)

事業名 通信インフラ（大会関係者向け LAN 設備）

案件名 データネットワーク関連業務委託（インターネット付加サービス 4,7）

確認の視点	東京都の見解	備考
経費の負担が平成 29 年 5 月 31 日の合意の考え方に基づくものであること	<ul style="list-style-type: none"> ・大卒の合意に基づき、平成 31 年度に予算計上したテクノロジーのインフラ（大会関係者向け LAN 設備）に係るものである。 ・経費分担については、大卒の合意に基づき計上された予算の範囲内となっている。 ・発注予定金額は、通信インフラ（大会関係者向け LAN 設備）の V3 予算内であることを確認した。 (2020年 8月 6日 契約変更に伴う追記) ・なお、延期に伴う追加経費の取扱いは、現時点で未定である。 	

事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること

- ・大枠の合意においては、経費分担に関わらず、組織委員会がテクノロジーのインフラの整備を実施する役割を担っている。
 - ・組織委員会は、昨年4月、通信サービスパートナー企業と電気通信供給契約を締結し、電気通信パッケージの提供を委託している。本案件は、この契約において、組織委員会に対して提供する電気通信パッケージの一つとして示された「データネットワーク WAN/LAN サービス」及び「Internet Services」に含まれる。
 - ・本案件は、組織委員会が電気通信供給契約を締結した通信サービスパートナー企業に対し、既の実施されたデータネットワークの基本設計、その後の要件見直し及び詳細設計等に基づき、これまでに構築してきた大会用データネットワークの運用保守業務を発注するものである。
 - ・本案件では、2019年3月時点で構築完了予定のプライマリーデータセンタ（以下「PDC」という。）及び晴海トリトンオフィス（以下「トリトン」という。）について、先行して発注を行う。
 - ・以上より、本案件についても、引き続き、組織委員会が一括して執行することが効率的・効果的である。
- (2020年8月6日 契約変更に伴う追記)
- ・データネットワーク関連業務委託（インターネット付加サービス 4,7）について、既存契約の契約期間を1年間延伸する。
 - ・また、2020年4月から9月のサービス提供期間を2021年4月から9月にスライドするとともに、2020年4月から9月については、各サービスの利用状況を考慮し、利用を継続するため、契約変更を行う。

<p>経費の内容等が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規模、単価かなど）、納得性（類似のものと比較して相応かなど）等の観点から妥当なものであること</p>	<p>必要性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・開催都市契約大会運営要件においては、大会のインターネットサービス等の供給を確保することが示されている。 ・大会用データネットワークは、大会時にデータセンター、組織委員会の各拠点、競技会場、大会関係施設等の間を接続する、大会運営の基盤となるネットワークであり、安定的にステークホルダーに提供しなければならない。 ・本案件は、大会時に使用する PDC 及びセンター拠点を含むトリトンにおいて、オンサイト保守、システム監視、障害対応、維持管理等のネットワーク運用保守業務及びネットワークセキュリティの運用等を実施するものであり、大会用データネットワークを安定的に稼働させるために必要な業務である。 <p style="color: red;">(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大会延期に伴い、引き続き業務を実施するにあたり、10月以降もサービスを継続して利用するため、契約手続き期間を考慮し、現時点で契約内容の変更手続きが必要であることを確認した。 	<p>開催都市契約大会運営要件 TEC03, 04</p>
--	------------	---	-------------------------------

	<p>効率性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今回実施する各業務の工数については、既存オフィスの実績等に基づき算出されており、組織委員会が妥当であると判断した内容を確認した。 ・オンサイト保守（現地駆けつけ保守）については、機器標準価格に対する割合で価格が決まっており、組織委員会の既存のデータネットワークのオンサイト保守と比較し、その割合が下回っていることから、組織委員会が妥当であると判断していることを確認した。 ・PDC 及びトリトンにおける設計構築メンバによる運用サポート業務（障害時の対処支援や設計変更管理支援等）については、設計業務の一部を実施したネットワーク機器のメーカーに再委託することにより、工数の最適化が行われていることを確認した。また、体制等の変更等について、通信サービスパートナー企業等と協議を実施し、価格交渉によって、コスト削減を実施していることを確認した。 ・ネットワークセキュリティの運用について、パートナーが示すサービス提供価格は、他社への提供価格よりも割引率が大きいこと等から組織委員会が提供価格を妥当であると判断したことを確認した。 <p style="color: red;">(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各サービスの価格については、前回契約時に確認した内容に基づいて積算されており、妥当であることを確認した。 ・各会場等の利用期間に応じて、費用が積算されていることを確認した。 	
--	------------	---	--

	<p>納 得 性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・電気通信供給契約において、組織委員会と NTT 東日本及び NTT コミュニケーションズは、電気通信パッケージの提供に関する、最低価格によるサービスの提供、サービスレベルの維持、平時の事業以上の業務品質によるサービスの提供、要員の要求事項の遵守等について合意をしている。 ・インターネットゲートウェイにおける設計構築メンバーによる運用サポート（追加要件の事前検討や影響範囲調査、対応方針検討等）の単価については、大手 IT 企業 6 社のカタログ価格よりも安価であることを確認した。 ・その他の業務（監視、障害対応、運用サポート、維持管理）における単価については、既存のデータネットワーク環境で契約している保守の価格と同等以下であることを確認した。 ・一部の業務については、チケット制とし、残数の持ち越しや協議による月のチケット数の変更を可能とすることにより、無駄なコストが発生しないよう工夫している。 ・費用分担については、各センターとオフィス部分の機能、機器の使用状況等を精緻化した上で、都負担すべき金額について、確定するものとする。 ・今後、その他の拠点や競技会場における運用保守業務の発注が予定されているが、予算の範囲内において実施できるよう通信パートナー企業とサービスレベル等の協議を継続し、コストの最適化に努めていただきたい。 <p style="color: red;">（2020 年 8 月 6 日 契約変更に伴う追記）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大会延期決定後すぐに、一部業務の停止を依頼し、2020 年 4 月以降の費用について、コストを削減していることを確認した。 ・組織委員会で契約中のセキュリティサービス全体について、サービスレベルや継続の必要性を検討した上で継続を実施していく予定であることを確認した。 ・今後、大会運営の方向性等を考慮し、適宜、見直し等を実施し、さらなるコスト最適化を継続していただきたい。 	
--	----------------------	---	--

<p>その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大会成功に向けて、大会開催都市としての責任を持つ東京都が大枠の合意に基づき確認した結果、本事業の経費を公費で負担することは適切と考えられる。 <p>(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延期に伴う追加経費については、既存経費も含めて可能な限りの効率化、精査を図ること。 ・また、延期に伴う追加経費については、現時点においては、その取扱いが未定であるため、当面組織委予算の執行とする。 	
---------------------------------------	---	--

*公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。

< 個別案件確認表（東京都） >

東京都担当確認年月日 2020年 3月 2日

東京都作業部会確認年月日 2020年 3月 3日

(契約変更に伴う再確認年月日 2020年 8月 7日)

事業名 通信インフラ (大会関係者向け LAN 設備)

案件名 データネットワーク関連業務委託 (運用業務委託)

確認の視点	東京都の見解	備考
経費の負担が平成 29 年 5 月 31 日の合意の考え方に基づくものであること	<ul style="list-style-type: none"> ・大枠の合意に基づくテクノロジーのインフラに係るものである。 ・経費分担については、大枠の合意に基づいていることを確認した。 <p>(2020年 8月 6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なお、延期に伴う追加経費の取扱いは、現時点で未定である。 	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること	<ul style="list-style-type: none"> ・大枠の合意においては、経費分担に関わらず、組織委員会がテクノロジーのインフラの整備を実施する役割を担っている。 ・組織委員会は、2017年 4月、通信サービスパートナー企業と電気通信供給契約を締結し、電気通信パッケージの提供を委託している。本案件は、この契約において、組織委員会に対して提供する電気通信パッケージの一つとして示された「データネットワーク WAN/LAN サービス」及び「Internet Services」等に含まれる。 ・本案件は、組織委員会が電気通信供給契約を締結した NTT コミュニケーションズ (以下「NTT コム」という。) に対し、既の実施されたデータネットワークの設計や各サービスの運用業務設計等に基づき、運用保守業務を発注するものである。 ・本案件では、Technology Operation Centre (TOC) 及びその体制下で効率的、包括的に監視運用を行うため、NTT コムから調達する以下のサービスに関する運用業務について、2020年 3月から 9月末まで委託するものである。 <ol style="list-style-type: none"> ① インターネット・ネットワークセキュリティ運用 ② 大会用固定電話サービス運用 ③ CATV サービス運用 	

	<p>④ 回線サービス（国際専用線、外線サービス等）の大規模障害時に備えた特別体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以上より、本案件についても、引き続き、組織委員会が一括して執行することが効率的・効果的である。 <p>(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存契約の契約期間を1年間延伸し、2020年4月から9月のサービス提供期間を2021年4月から9月にスライドするとともに、2020年4月から9月については、必要最低限のサービスレベルで利用を継続するため、契約変更を行う。 	
<p>経費の内容等が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規模、単価かなど）、納得性（類似のものと比較して相応かなど）等の観点から妥当なものであること</p>	<p>必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催都市契約大会運営要件においては、大会のインターネットサービス等の供給を確保することが示されている。 ・大会用データネットワークは、大会時にデータセンタ、組織委員会の各拠点、競技会場、大会関係施設等の間を接続する、大会運営の基盤となるネットワークであり、安定的にステークホルダに提供しなければならない。 ・本案件は、プライマリ・データセンタ（PDC）、セカンダリ・データセンタ（SDC）、競技会場及びセンター拠点等において、オンサイト保守、システム監視、障害対応、維持管理等のネットワーク運用保守業務、ネットワークセキュリティの運用等を実施するものであり、大会用データネットワークを安定的に稼働させるために必要な業務である。 ・2020年3月以降、会場等におけるネットワーク構築の本格化や各種サービスについての要件変更への対応等、複数拠点で同時進行する高陸・運用業務への対応が求められることから、今般、大会後までに運用業務を一括して、NTTコムに発注する。 <p>(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大会延期に伴い、引き続き業務を実施するにあたり、10月以降もサービスを継続して利用するため、契約手続き期間を考慮し、現時点で契約内容の変更手続きが必要であることを確認した。 	<p>開催都市契約大会運営要件 TEC03, 04</p>

	<p>効率性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・オンサイト保守、システム監視、障害対応、維持管理等のネットワーク運用保守業務、ネットワークセキュリティの運用等の費用について、過去案件等と比較し妥当であることを確認した。 ・各セキュリティ製品の運用等について、NTT コムが示すサービス提供価格は、他社への提供価格と同等であり、また、過去案件との比較からも妥当であることを確認した。 ・一部の業務については、各サービスを構築したベンダ等に再委託することにより、コストの最適化が行われていることを確認した。 ・NTT コムと交渉により、単価や人員体制の見直しを実施することで、価格の低減に努めてきたことを確認した。 <p>(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各業務の費用については、前回契約時に確認した内容に基づいて積算されており、価格交渉経緯等から、費用が妥当であることを確認した。 ・SDC 停止期間、各会場の利用開始時期等のスケジュールを考慮し、各期間で必要最低限のサービスレベルに変更することで、コスト削減を図っていることを確認した。 ・一部の業務については、組織委員会職員が対応することで、コスト削減をしていることを確認した。 	
--	------------	---	--

	<p>納 得 性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・電気通信供給契約において、組織委員会と NTT コムは、電気通信パッケージの提供に関する、最低価格によるサービスの提供、サービスレベルの維持、平時の事業以上の業務品質によるサービスの提供、要員の要求事項の遵守等について合意をしている。 ・NTT コムの単価については、大手 IT 企業 6 社のカタログ単価より安価であることを確認した。 ・人員体制については、各サービスの開始時期、テストイベント、テクノロジーリハーサル等のスケジュールを考慮したものとなっており、また、各ポジションに必要なスキルを明確にした上で人員を配置していることを確認した。 ・これまでの実績、過去大会との比較を実施し、必要な人員を積算しており、IOC やテクノロジーパートナーとの協議を実施した上で、人員体制を決定していることを確認した。 ・一部の業務については、引き続き、チケット制とし、これまでの実績から今後の数量を推定し、購入数との差分を購入していることを確認した。 <p>(2020 年 8 月 6 日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大会延期決定後すぐに、一部業務の停止を依頼した上で交渉を実施することで、2020 年 4 月以降の費用についてはコストを削減していることを確認した。 ・組織委員会で契約中のセキュリティサービス全体について、サービスレベルや必要性を検討した上で、継続するサービスを決定しており、本案件の保守業務もその決定に基づいていることを確認した。 ・今後、大会運営の方向性等を考慮し、適宜、見直し等を実施し、さらなるコスト最適化を継続していただきたい。 	
<p>その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・大会成功に向けて、大会開催都市としての責任を持つ東京都が大枠の合意に基づき確認した結果、本事業の経費を公費で負担することは適切と考えられる。 ・予算内であることを確認しているが、2019 年度末に、大会経費の都の枠内であることを改めて確認する。 (令和 2 年 3 月 30 日追記) ・大会経費の都の枠内に収まっていることを確認した。 (2020 年 8 月 6 日 契約変更に伴う追記) 	

	<ul style="list-style-type: none">・延期に伴う追加経費については、既存経費も含めて可能な限りの効率化、精査を図ること。・また、延期に伴う追加経費については、現時点においては、その取扱いが未定であるため、当面組織委予算の執行とする。	
--	---	--

*公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。